

【 記載例 】

連絡先：098-123-4567 担当者 ○○○

第4号様式（細則第4条第4号関係）

年間報告

麻薬小売業者
令和〇〇年度 麻薬管理者 届出
麻薬研究者

届出者が個人の場合は、個人の住所及び氏名を記載すること。
届出者が法人の場合は、当該法人事務所の所在地及び法人名、代表者名を記載すること。

沖縄県知事 殿

※2「譲受数量」欄には、麻薬卸売業者から譲り受けた麻薬の数量を記載すること。

※※ 都道府県知事から許可を受けた麻薬小売業者間譲渡許可業者間における譲渡や譲受に係る数量は内数として（ ）書きで併記すること。

麻薬業務所の所在地 那覇市泉崎〇丁目〇 号
及び名称 〇〇薬局

届出者の住所 那覇市泉崎〇丁目〇番〇号
及び氏名 株式会社〇〇〇〇

免許の種類 麻薬小売業者
及び免許の番号 第 00-000-号

第47条
~~48条~~
9条
の規定により、次の

※1 麻薬廃棄届により廃棄した数量及び事故のあった数量を備考欄に記載すること。
調剤済麻薬廃棄届により廃棄した数量は記載の必要無し。

品名	前年の10月1日 現在の 所有数量	譲受数量	譲渡 施用 数量 使用	当年9月30日 現在の 所有数量	
(※1) MSリヂ錠 10mg	150錠	200錠	225錠	110錠	廃棄 10錠 (R00年00月00日届提出) 事故 5錠 (R00年00月00日届提出)
アヘン末	20 g	0 g	10 g	10.5 g	秤量誤差調整 (R00年0月0日 +0.5g)
(※2) デロテップMTパッチ 2.1mg	10枚	25枚 (5枚)	15枚 (3枚)	20枚	5枚譲受(☆☆薬局) 3枚譲渡(△△薬局)
塩酸モルネ原末	5 g	0g	1g (※)	4 g	(※) 原末1g使用し 10倍散10gを製剤
塩酸モルネ10倍散 (自家製剤)	4.5 g	10g (※)	12.5 g	2g	(※) 原末1g使用し 10倍散10gを製剤
(※3) ケタミン筋注用500mg	10.3 mL	20 mL	15.6 mL	14.7 mL	

※3 ケタミンなどのバイアル製剤は分注して使用することが多いことから、バイアルの本数単位ではなく、mL単位に換算して記載すること。(麻薬帳簿における管理もmL単位で管理すること。)